

宇宿貝塚史跡公園観光拠点再整備事業
【デジタルコンテンツ整備業務】サウンディング調査結果

令和 7 年 6 月 16 日
奄美市財政課公共施設マネジメント推進室

1 サウンディング実施の趣旨

宇宿貝塚史跡公園は、平成 16 年 2 月 9 日に開園し、今日に至るまで、史跡宇宿貝塚への理解を促す場所として位置づけられてきた。

開園 20 年が経ち、史跡公園の史跡保護覆屋施設各所の経年劣化が見られ、雨漏りなどの課題があった。そこで、令和 4 年度に「宇宿貝塚保存活用計画」を作成し、史跡宇宿貝塚の恒久的な保存・管理と将来的な活用・整備に関する方針を定めた。

令和 5 年度に奄美市が「SDGs 未来都市」に選定されたことにより、令和 6 年度から「宇宿貝塚史跡公園リニューアルに伴う SDGs 加速化事業」を実施し、照明設備の更新、スペースの整備、ショーケースの導入、紹介パネル等の展示の充実を図った。

また、今年度の宇宿貝塚史跡公園観光拠点再整備事業において、施設の屋根・外壁改修を行うとともに、プロジェクション投影ができる仕様に整備する。

以上の経緯により、奄美大島内外からの来園者の満足度向上と史跡の理解を高めていくとともに、幅広い世代の交流を促し、質の高いサービスを継続的に提供する施設として、仮想空間上でリアルな学びや体験を可能とする VR の導入や屋内プロジェクションによるダイナミックな映像等で再現するデジタルコンテンツを導入する。

コンテンツの整備にあたり、民間事業者との対話を通じて本事業の市場性、可能性を確認する。

2 本施設の概要

所在地：鹿児島県奄美市笠利町宇宿 2301

構造：鉄骨造平屋建て

敷地面積：3,785 m²

伸床面積：1,124 m²

宇宿貝塚は、鹿児島県奄美市笠利町宇宿にある縄文時代から中世にかけての複合遺跡である。縄文時代の石組の竪穴建物跡や貯蔵穴、中世の土坑墓などの遺構や土器、石器や骨角器、貝製品などの遺物が発見され、昭和 61 年（1986）10 月 7 日に国史跡に指定された。

宇宿貝塚史跡公園は、国史跡「宇宿貝塚」に整備された施設である。

この公園は、発掘調査で発見された遺構・遺物や調査の跡を埋め戻さずに露出展示している。

3 調査結果

参加者	島外事業者(8社)
対話日時	2025/5/16~2025/6/9
調査事項	調査結果
①本事業実施に際し、監修委員会を設置するが、監修内容を十分に反映することが可能か。	・可能である。(8社) ・コミュニケーションを取れる状況が必要 ・定期的にオンラインで開催したい。 ・スケジュール管理もやっていきたい。 ・内容の監修については、積極的にお願いしたい。 ・事業課題をいただき解決するスタイルであるため十分に可能である。
②宇宿貝塚史跡公園の特徴や奄美縄文の特徴等を踏まえたうえで、縄文時代や中世の世界観を再現する魅力ある映像コンテンツの制作及びプロジェクターの設置が可能か。	・可能である。(6社) ・プロジェクターは4台必要かと思われ、多額の費用が掛かると思われる。 ・施設の状況でプロジェクターの照度が決まる。同時に行う施設整備でどれだけ施設内が暗くなるかが分からない。 ・プロジェクターは照度によって金額が大幅に変わる。 ・施設内は暗い方が良いが、安全性を配慮すると、薄暗い程度の方が良い。 ・コンテンツの操作方法は、奄美市にお伝えする。 ・映像時間の確認 ・映写面積はマックス27mとしその範囲内で調整する。 ・複数のプロジェクター設置となるとコントロールシステムが必要ではないか。高額になると予想される。 ・プロジェクター設置の施行に関して地元業者と連携が取れるか。

	・プロジェクションマッピングは、非常に高額になるためおすすめしない。壁面を利用したプロジェクションなら可能である。 ・施設内が暗くなる前提での導入を考えており、15000ml のプロジェクターだと高額になる。 ・現時点で照度が不明なため、導入するプロジェクターの機器は採択後の要調整になる。 ・機材設置の際には、足場の設置を露出展示内に行っても良いのか。 →職員の立ち合いの下であれば可能である。(奄美市回答) ・奄美市が保有している写真や報告書、図面、遺物等の資料を借用しても可能か。 →可能である。(奄美市回答) ・AI の活用が必須ではないと考えて宜しいか。 →宜しい(奄美市回答) ・プロジェクター設置に関する施工の協力が得られれば可能である。 ・プロジェクター設置の施工費も含まれているのか。 →含まれている。(奄美市回答)
③仮想空間による縄文及び中世のリアルな体験を提供するVR の制作及び機器の導入が可能か。	・可能である。(8社) ・メインターゲット、年齢層を明確にした方がいい。ガイドラインでは11歳以下は親の同意が必要になる。 ・子供用のデバイスが必要になる。 ・施設内を安全に動き回れるならロケーションを十分に活かせる。 ・VR 機器の台数も明確にしてみようとい。 ・各種体験を再現することは可能。 ・リアル感は機器次第なところもある。 ・機器の導入台数は示してほしい。 ・VR とプロジェクションの双方で規模を調整することになる。 ・利用者目線で内容を考えたい。 ・利用者が最初から最後まで自分で使う認識で良いか。 →それでよい。(奄美市回答) ・VR の使用に関する特別な要件があるか。 →0歳以上、5分程度を想定している。(奄美市回答)

④デジタルコンテンツにより、観光客、地元の住民や学生、グループの満足度向上につながる提案が可能か。	・可能である。(8社) ・映像、VRともに時間を明確にする。 ・独自提案あり。 ・小学生の利用は親の同意が必要 ・VR 専用の Wifi 整備も含める必要がある。 ・修学旅行生等の大人数グループを想定しているのか。 →想定していない。(奄美市)
⑤本事業が令和 8 年 3 月までに完了する見込みについて。	・かなりタイトである。(2 社) ・可能である(7社) ・9 月契約だと、年内予見、年明けから制作となる。 ・監修委員会での整理(ストーリー)や盛り込みたいポイントを公募前で明確することでスムーズになる。 ・監修委員会との協力体制が築ければ可能である。 ・発注者とのスピード感のあるやり取りが必要となる。(2 社)
⑥事業費上限額内で本事業の実施が可能か。	・デジタルコンテンツの時間、機器の設置台数を明確にする必要があるが概ね可能である。(6社) ・映像の金額規模が現状不明 ・予算的にかなり厳しい。どこまでの内容を求めてくるかにかかわる。
⑦本事業への参入可能性について。	・参入可能(8社) ・仕様書に、コンテンツの時間や入れ込みたいポイント等は入れた方が良い。 ・映像と VR を分けることが望ましい。 ・施工で地元事業者の協力が必要である。 ・事業費内での調整ができれば。

今回の調査で、参加頂いた民間事業者様から貴重なご意見をお聞きする事ができました。
本市といたしましては、この調査結果を参考に、発注仕様に反映させて参ります。